



年 頭 所 感

PC建築部会部会長

八田 英治

大成ユーレック株式会社 社長

2013年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には平素よりPC建築部会活動に多大なご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、欧州政府債務問題によるユーロ安やドル安円高の長期化をはじめ、中国及び新興国の経済成長の減速など海外の景況感の悪化に加え、近隣諸国との歴史認識の相違や領土問題の再燃による懸念材料も多く、混迷した不安な年となりました。国内においても、海外景気の減速や政策効果の反動の影響等により生産や消費が弱含むなか、衆議院の解散総選挙が実施されるなど混沌とした一年となりました。また、一昨年の東日本大震災と原子力発電所事故により、今も避難を余儀なくされ不自由な生活を強いられている方々が多数いらっしゃる状況に変わりはなく、一日も早い復旧復興が望まれるところであります。今なお厳しい状況にある被災地域の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

建設業界におきましては、復旧・復興工事を中心とする公共工事の増加を背景に堅調に推移しているとみられるものの、民間建設投資は力強さを欠いており、建設資材や労務単価の上昇など総じて先行き不透明な状況にあります。住宅関連税制や制度の継続・拡充が望まれるところであります。

このような状況の下、PC建築部会は、プレキャストコンクリート部材（PC部材）を使用して工業化を高めた建築物、すなわちPC建築の需要の拡大と、工業化技術の開発、PC部材の品質向上等を図ることにより、豊かな社会の実現にいくことが重要な使命であり、責務であると考え、各種活動を実施しております。当部会は事業として、PC部材品質認定事業、PC構造審査事業、PC工法施工・PC部材製造管理技術者資格認定事業の3事業を実施しております。

PC部材品質認定事業では、認定取得工場の全工場（国内48工場、国外4工場）のサーベイランスを行いました。昨年12月には、国外所在の工場のうち、中国大連市の1工場と上海市の2工場の視察を実施し、中国の技術者との意見交換を行いました。今後も、国内生産部材同様に国外生産部材の品質向上に努めてまいりたいと思います。

また、本年度は上述のPC部材品質認定事業のほか、PC構造審査事業、管理技術者資格認定事業を継続して実施しており、特に、PC部材製造管理技術者資格認定については、2014年4月の初回認定に向けて動きだしております。さらには、東日本大震災から一年以上が過ぎ復旧から復興へと向かっているなか、復興支援に積極的に参画するため、復興推進特別委員会を設置し、PC建築部会として、早期の復興とともに安全安心で高品質な都市再生に寄与できるPC建築を提案して行きたいと考えております。

当協会の創立50周年を迎えるに当たり、これからもPC建築のさらなる発展を目指して活動してまいりますので、どうか皆様のご協力を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、今年一年の皆様方のご健康、ご多幸を心よりお祈りいたしまして、私の新年のご挨拶とさせていただきます。